

# 2006年華語国際特別集会

## 標 語

信者たちを牧養することは、  
彼らが神聖な命の中で成長して円熟に至り、  
キリストのからだを建造するために極めて重要です。

キリストは良い牧者、大牧者、牧者の長、  
わたしたちの魂の牧者、永遠の牧者であって、  
わたしたちを命の水の泉に導き、  
永遠の満足を得させます。

わたしたちは牧する者となって、  
父なる神の神性における愛し赦す心と、  
救い主キリストの人性における牧養し捜す霊を  
持つ必要があります。

わたしたちは  
主に対する愛から流れ出る牧養する生活をして、  
人をはぐくみ養うことによって、  
愛の中でキリストを供給し、  
召会を建造する必要があります。

2006年1月29-31日

華語国際特別集会メッセージアウトライン

## 主題：キリストのからだを建造するためのキリストの有機的な牧養

メッセージ 1

### キリストのからだを建造するための牧養の緊急の必要

聖書：ヨハネ 21:15-17. 使徒 20:28. エペソ 4:12-16

**ヨハネ 21:15-17** 彼らが朝食を済ませた時、イエスはシモン・ペテロに言われた、「ヨハネの子シモンよ、あなたはこれら以上にわたしを愛するか?」。ペテロは彼に言った、「はい、主よ。わたしがあなたを愛していることは、あなたをご存じです」。イエスは彼に言われた、「わたしの小羊を養いなさい」。イエスはまた二度目に彼に言われた、「ヨハネの子シモンよ、あなたはわたしを愛するか?」。ペテロは彼に言った、「はい、主よ。わたしがあなたを愛していることは、あなたをご存じです」。イエスは彼に言われた、「わたしの羊を飼いなさい」。イエスは三度目に彼に言われた、「ヨハネの子シモンよ、あなたはわたしを愛するか?」。ペテロはイエスが三度目も自分に、「あなたはわたしを愛するか?」と言われたので、悲しんだ。そして彼はイエスに言った、「主よ、あなたはすべての事をご存じです。わたしがあなたを愛していることは、あなたをご存じです」。イエスは彼に言われた、「わたしの羊を養いなさい」。

**使徒 20:28** あなたがた自身と群れ全体に気をつけなさい。聖霊は彼らの間に、あなたがたを監督として立てられ、神がご自身の血を通して獲得された神の召会を牧させるのです。

**エペソ 4:12-16** それは、聖徒たちを成就して、その務めの働きへと、キリストのからだの建造へと至らせるためであり、ついにわたしたちすべては、その信仰の一に、また神の御子を知る全き知識の一に到達し、一人の完全に成長した人に到達し、キリストの豊満の身の丈の度量にまで到達するのです。それは、わたしたちがもはや幼子ではなく、波にもてあそばれたり、教えのあらゆる風によって吹き回されたりすることがないためです。この教えは、誤りの体系をもくろむこうかつな人の悪巧みです。むしろ、愛の中で真理を固く保って、わたしたちはすべての事で、彼すなわちかしらであるキリストの中へと成長し込むのです。この方から、からだ全体は、その豊富な供給のあらゆる節々を通して、またそれぞれの部分の度量に応じた活動を通して、組み合わせられ結合され、からだを成長させ、愛の中でそれ自身を建て上げるに至るのです。

- I. 主の回復の目標は、すべての信者がキリストを供給することを回復し、キリストのからだとしての召会が建造されることです——エペソ4:12-16。
- II. 牧養とは、行き届いた優しさをもって群れを顧みることです。牧養は、羊のすべての必要を顧みることを指しています——ヨハネ21:15-17. 使徒20:28。
- III. 今日、主の回復の中に、牧養という緊急の必要があります——ヨハネ21:16. I ペテロ5:4:
  - A. 父なる神は彼の有機的な救いの中で、まず霊なる神によってわたしたちを再生し、次に牧者としての子なる神の中でわたしたちを牧養して、わたしたちが永遠に彼の命の中で存在し、成長するようにします——1:3. ヨハネ 10:11. 啓 7:17。
  - B. 信者たちを牧養することは、彼らが神聖な命の中で成長して円熟に至り、キリストのからだを建造するために極めて重要です——エペソ 4:12-16。
  - C. わたしたちの間で最も欠けているのは牧養の事柄です。
- IV. もし牧養が何であるかを知らないなら、ヨハネによる福音書全体はわたしたちにとってむなしなものとなります。わたしたちは人を牧養してはじめて、ヨハネによる福音書を知ります——10:11, 14. 21:16. 14:20. 15:1, 4-5。

- V. 神の永遠のエコノミーの主要な目的と究極的な完成のために、神の群れを牧養することは雅歌に述べられています——1:7前半, 8後半, 2:16, 6:3。
- VI. 牧養とは、神の子供たちを養うことによって顧みることです——ヨハネ21:15-17:
- A. 牧養の働きは養いの働きです——マタイ 24:45, I コリント 3:2。
  - B. 養うことによる牧養は、神・人の生活の一部です。
  - C. 牧者の養いは、信者たちを成長させて日ごとの救いに至らせるだけでなく、神聖な命における円熟へと至らせます。これは神・人が必要とするものであり、彼らがキリストのからだの中へと建造されるようにします——ヘブル 5:14, エペソ 4:12-13。
- VII. 牧養は教えることにかかっています。もし教えることができないなら、牧養することはできません——マタイ28:19-20, 9:35-36:
- A. 牧養と教えることは並行します——エペソ 4:11:
    1. 牧養と教えることは二本の足のようであるべきであって、わたしたちが主と共に行動するためです——使徒 20:20, 27-28。
    2. わたしたちの牧養は常に教えることを伴っているべきであり、わたしたちの教えることは常に牧養を伴っているべきです。
    3. 教えることはわたしたちの牧養を強めるだけでなく、わたしたちを助けて牧養の目標に到達させます——詩 23:6 後半, ヨハネ 10:11, 14-16, 14:2。
  - B. もし牧養と教えることで失敗するなら、召会全体は荒廃します——II テモテ 2:20, 啓 2:20, 24。
  - C. 聖徒たちを牧養するために、バイタルグループの中に健康な教えがなければなりません——II テモテ 4:3, テトス 1:9。
  - D. 神が彼の目的を完成し、彼のエコノミーを成就するために、わたしたちは神のエコノミーを教えて、神のエコノミーの高嶺に到達する必要があります——エペソ 1:10, 3:9。
  - E. 神のエコノミーに関する使徒たちの教えだけが、聖徒たちを造り変えることができます。ですから、わたしたちは神のエコノミーにしたがった使徒たちの教えをもって、聖徒たちを牧養する必要があります——使徒 2:42, テトス 1:9。
  - F. 牧養と教えることはわたしたちの義務であり、主によって与えられた命令です。これが神によって定められた、キリストのからだを建造する基本的な道であり、それは彼の永遠の目標である新エルサレムを究極的に完成します——エペソ 4:16, 啓 21:2。
- VIII. キリストのからだを建造する牧養は、相互の牧養です——I コリント12:23-26:
- A. すべての信者は、霊的な成長の段階に関係なく牧養を必要とします。わたしたちはみな欠点や短所を持っており、わたしたちを牧養する人を必要とします。
  - B. わたしたちはみなキリストの有機的な牧養の下にいて、彼と一になって人を牧養する必要があります——I ペテロ 2:25, ヨハネ 21:16。
  - C. わたしたちは羊でありまた牧者であって、互いに牧養し、牧養されます。この相互の牧養を通して、からだは愛の中でそれ自身を建て上げます——エペソ 4:16。
- IX. 「わたしは、わたしたちが牧養のこの負担を受け入れることによって、わたしたちの間に真の復興があることを望みます」(バイタルグループ、64ページ)。
- X. 「すべての召会がこの教えを受け入れ、キリストのすばらしい牧養にあずかるなら、回復の中に大きな復興があるでしょう」(64ページ)。